



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 日油株式会社

コード番号 4403 URL <http://www.nof.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林 明治

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 石垣 良一

TEL 03-5424-6600

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	41,560	5.1	6,371	52.8	6,339	30.4	4,480	37.8
28年3月期第1四半期	39,552	△0.5	4,171	4.9	4,861	15.9	3,250	35.3

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 4,099百万円 (△20.1%) 28年3月期第1四半期 5,133百万円 (50.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	25.51	—
28年3月期第1四半期	18.11	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	192,824	134,125	69.2
28年3月期	196,293	135,636	68.7

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 133,345百万円 28年3月期 134,841百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.00	—	11.00	18.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	171,000	0.3	19,000	△1.9	20,000	△0.8	13,800	1.6	79.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	180,682,752 株	28年3月期	180,682,752 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	7,555,405 株	28年3月期	3,550,630 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	175,642,577 株	28年3月期1Q	179,453,532 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(平成28年4月1日から平成28年6月30日までの3ヶ月間)におけるわが国経済は、政府・日銀の経済・金融政策などを背景に、緩やかな回復基調が継続したものの、急激な円高の進行や個人消費の伸び悩みにより、一部に弱さがみられました。海外経済は、堅調な米国景気に支えられましたが、中国およびアジア新興国の成長鈍化や英国の欧州連合(EU)からの離脱問題など景気下振れリスクが顕在化し、不透明感が増しております。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内、米国の比較的堅調な需要に支えられる一方で、中国およびアジア新興国の景気減速による下振れの影響が懸念される状況にありました。

このような事業環境下、当社グループは、新たな成長軌道を切り拓くため、2016年度を最終年度とする3ヵ年計画「2016中期経営計画」の基本方針「新製品・新事業開発の加速」「海外事業展開の拡大」「経営体質の更なる強靱化」「戦略的組織への改編」を推進するとともに、高機能・高付加価値製品による新市場開拓と拡販ならびに生産コストの低減に努め、持続的成長に向けた経営努力を積み重ねております。

これらの結果、当第1四半期の売上高は、41,560百万円と前年同期比5.1%の増収となりました。また、営業利益は、6,371百万円と前年同期比52.8%の増益、経常利益は、6,339百万円と前年同期比30.4%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、4,480百万円と前年同期比37.8%の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## ①機能化学品事業

脂肪酸誘導体は、環境エネルギー関連の需要が減少し、売上高は減少しました。

界面活性剤は、トイレットリー関連の需要が好調に推移し、売上高は増加しました。

エチレンオキシド・プロピレンオキシド誘導体は、土木・建築向けの需要が減少し、売上高は減少しました。

有機過酸化物は、アジアでの需要が堅調に推移し、売上高は増加しました。

ディスプレイ材料は、中小型液晶パネル関連の需要が堅調に推移し、売上高は増加しました。

特殊防錆処理剤は、北米、欧州ともに自動車関連の需要は堅調であったものの、為替影響により、売上高は減少しました。

これらの結果、機能化学品事業の売上高は、28,617百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益は、製品構成の影響もあり、5,177百万円(前年同期比62.0%増)となりました。

## ②ライフサイエンス事業

食用加工油脂は、製菓・製パン用機能性油脂の需要が底堅く、売上高は前年同期並みとなりました。

機能食品関連製品は、既存品の需要が底堅く、売上高は前年同期並みとなりました。

生体適合性素材は、MPC(2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン)関連製品のアイケア向けの出荷が堅調に推移し、売上高は増加しました。

DDS(ドラッグ・デリバリー・システム:薬物送達システム)医薬用製剤原料は、欧米大口需要家への出荷が堅調に推移し、売上高は増加しました。

これらの結果、ライフサイエンス事業の売上高は、6,321百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益は、1,144百万円(前年同期比54.0%増)となりました。

## ③化薬事業

産業用爆薬類は、公共事業関連の需要が減少し、売上高は減少しました。

宇宙関連製品は、ロケット向け製品の出荷が堅調に推移し、売上高は増加しました。

防衛関連製品は、売上高は増加しました。

これらの結果、化薬事業の売上高は、6,300百万円(前年同期比12.4%増)、営業利益は、275百万円(前年同期比22.0%減)となりました。

## ④その他の事業

その他の事業は、運送事業および不動産事業から構成されております。その売上高は、320百万円(前年同期比7.7%減)、営業利益は、46百万円(前年同期比60.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は、前期末に比べ3,468百万円減少し、192,824百万円となりました。

資産の増減の主な内容は、棚卸資産の増加805百万円、現金及び預金の減少2,390百万円、売掛債権の減少1,201百万円等であります。

負債は、前期末に比べ1,958百万円減少し、58,698百万円となりました。

負債の増減の主な内容は、買入債務の増加876百万円、有利子負債の減少295百万円、法人税等の納付による未払法人税等の減少2,005百万円等であります。

純資産は、前期末に比べ1,510百万円減少し、134,125百万円となりました。

純資産の増減の主な内容は、親会社株主に帰属する四半期純利益4,480百万円、剰余金の配当による減少1,948百万円および自己株式の取得による減少3,657百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当初予想（平成28年5月10日発表）に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、主として当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,081	16,691
受取手形及び売掛金	37,188	35,986
商品及び製品	19,205	18,686
仕掛品	4,115	4,837
原材料及び貯蔵品	9,766	10,369
その他	4,813	4,196
貸倒引当金	△177	△178
流動資産合計	93,993	90,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,560	22,226
土地	20,647	20,609
その他(純額)	13,706	14,093
有形固定資産合計	56,914	56,929
無形固定資産		
その他	715	675
無形固定資産合計	715	675
投資その他の資産		
投資有価証券	41,214	41,190
退職給付に係る資産	1,647	1,658
その他	1,867	1,841
貸倒引当金	△59	△60
投資その他の資産合計	44,669	44,630
固定資産合計	102,299	102,234
資産合計	196,293	192,824
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,320	19,237
電子記録債務	1,178	1,136
短期借入金	1,700	1,433
1年内返済予定の長期借入金	0	0
未払法人税等	4,079	2,074
賞与引当金	3,113	1,733
その他	10,618	11,396
流動負債合計	39,009	37,013
固定負債		
長期借入金	8,128	8,120
退職給付に係る負債	4,449	4,442
その他	9,068	9,122
固定負債合計	21,647	21,685
負債合計	60,656	58,698

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,742	17,742
資本剰余金	15,113	15,113
利益剰余金	89,735	92,267
自己株式	△2,719	△6,376
株主資本合計	119,871	118,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,270	17,250
為替換算調整勘定	572	3
退職給付に係る調整累計額	△2,872	△2,654
その他の包括利益累計額合計	14,969	14,599
非支配株主持分	795	780
純資産合計	135,636	134,125
負債純資産合計	196,293	192,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	39,552	41,560
売上原価	27,749	27,443
売上総利益	11,802	14,117
販売費及び一般管理費	7,631	7,745
営業利益	4,171	6,371
営業外収益		
受取利息	50	21
受取配当金	399	449
為替差益	175	—
その他	160	195
営業外収益合計	786	666
営業外費用		
支払利息	16	12
為替差損	—	619
不動産賃貸費用	25	17
固定資産撤去費用	21	20
その他	33	28
営業外費用合計	96	698
経常利益	4,861	6,339
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	7	7
その他	0	—
特別損失合計	7	7
税金等調整前四半期純利益	4,854	6,332
法人税等	1,609	1,851
四半期純利益	3,244	4,480
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,250	4,480



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	3,244	4,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,267	△20
為替換算調整勘定	△478	△578
退職給付に係る調整額	99	218
その他の包括利益合計	1,888	△380
四半期包括利益	5,133	4,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,138	4,109
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	△9

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	機能化学 品事業	ライフサ イエンス 事業	化薬事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	27,611	5,986	5,606	39,204	347	39,552	—	39,552
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	197	234	5	437	1,852	2,290	△2,290	—
計	27,809	6,221	5,612	39,642	2,200	41,842	△2,290	39,552
セグメント利益	3,196	743	353	4,293	28	4,322	△150	4,171

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、不動産販売および管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△150百万円には、セグメント間取引消去160百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△311百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	機能化学 品事業	ライフサ イエンス 事業	化薬事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	28,617	6,321	6,300	41,239	320	41,560	—	41,560
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	239	458	2	700	1,780	2,481	△2,481	—
計	28,857	6,780	6,302	41,940	2,101	44,041	△2,481	41,560
セグメント利益	5,177	1,144	275	6,598	46	6,644	△272	6,371

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、不動産販売および管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△272百万円には、セグメント間取引消去124百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△396百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。